

事前の質疑に対する回答

【資料4】

NO	分野	該当資料	質問内容	理由等	回答
1	第2期宇城市まち・ひと・しごと総合戦略の評価関係	【資料3-1】第2期宇城市まち・ひと・しごと創生総合戦略「R6関連施策成果検証シート」 ① I-14	親育ち支援事業の成果指標で、参加実人数とありますが、対象となる人数は何人ですか？	参加人数よりもどれくらいの割合で利用されているのかが大事だと考えます。	対象は、0歳～5歳までの児童の母親となります。ただし、その母親の人数は数値として出ておらず、かつ参考数値となる対象年齢の児童数は、きょうだい児がいる場合や転入転出も含まれることから、この数からの正確な対象人数の把握は難しい状態です。 そのため、成果指標は、事業を依頼している講師の対応可能人数8人としています。 参考数値：出生数/年の350～360人(ただしこの中には兄弟や転入転出の数が含まれる)
2	第2期宇城市まち・ひと・しごと総合戦略の評価関係	【資料3-1】第2期宇城市まち・ひと・しごと創生総合戦略「R6関連施策成果検証シート」 ① I-16	子育て世帯訪問支援事業の成果指標で、利用者実人数とありますが、対象となる人数は何人ですか？	利用人数よりもどれくらいの割合で利用されているのかが大事だと考えます。	対象となる人数は、宇城市内の0歳～18歳の児童のいる家庭となります。ただし、その家庭の数は数値として出ておらず、参考数値となる児童の数は、兄弟児や転入転出等もあり、日々増減する数のため、把握は難しい状態です。 そのため、成果指標には、近年の最大利用者数5人としています。
3	第2期宇城市まち・ひと・しごと総合戦略の評価関係	【資料3-1】第2期宇城市まち・ひと・しごと創生総合戦略「R6関連施策成果検証シート」 ③ I-72	宇城市ビジネスサポートセンター運営業務の成果指標で、使用件数とありますが、稼働率はどれくらいでしょうか？	いくつかの施設、部屋があると思いますが、年間を通しての利用状況を把握するために施設別、部屋別の稼働率が必要と考えます。	ビジネスサポートセンターの稼働率につきまして、コワーキングスペース2%、セミナールーム69%、ミーティングルーム67%となっております。
4	第2期宇城市まち・ひと・しごと総合戦略の評価関係	【資料3-1】第2期宇城市まち・ひと・しごと創生総合戦略「R6関連施策成果検証シート」③Ⅲ-78	耕作放棄地解消事業の成果指標は、「耕作放棄地の解消面積」となっていますが、対象となる面積はどれくらいあるのでしょうか？	全体の進捗を把握するためにも割合の把握が必要と考えます。	耕作放棄地解消事業の対象となる農地の面積は、農業委員会で把握している農地法32条第1項第1号の遊休農地(荒廃化が低度：トラクター利用により再生可能、荒廃化が中程度：トラクターと重機併用により再生可能)であり、令和7年3月31日時点現在で、24,275aになります。
5	第2期宇城市まち・ひと・しごと総合戦略の評価関係	【資料3-1】第2期宇城市まち・ひと・しごと創生総合戦略「R6関連施策成果検証シート」 ③Ⅲ-87	補助漁港改良費の成果指標は、「漁港施設整備工事完了件数」となっていますが、対象となる件数はどれくらいあるのでしょうか？	全体の進捗を把握するためにも割合の把握が必要と考えます。	市内には7つの漁港がありますが、このうち補助漁港改良費の対象となっているのは、内瀧片島漁港、田井ノ浦漁港、松合漁港の3漁港です。これらの3漁港について、漁港施設整備工事が進められています。

事前の質疑に対する回答

【資料4】

NO	分野	該当資料	質問内容	理由等	回答
6	第2期宇城市まち・ひと・しごと総合戦略の評価関係	【資料3-1】第2期宇城市まち・ひと・しごと創生総合戦略「R6関連施策成果検証シート」③IV-90	空き家対策事業の成果指標は、「空き家改修及び老朽危険空き家除却棟数」となっていますが、対象となる件数はどれくらいあるのでしょうか？	全体の進捗を把握するためにも割合の把握が必要と考えます。	令和元年度に実施した空き家実態調査の結果、市全体で1,533棟の空き家があることが判明しました。そのうち修繕不要・軽微な修繕が必要な空き家が856棟、大規模な修繕が必要な空き家が457棟、劣化が著しい空き家が154棟、視認不可の空き家が86棟あり、成果指標としての改修対象(利活用可能)の空き家は856棟、除却対象の空き家は154棟になると思われます。
7	第2期宇城市まち・ひと・しごと総合戦略の評価関係	【資料3-1】第2期宇城市まち・ひと・しごと創生総合戦略「R6関連施策成果検証シート」④II-115	ふるさと納税受入額の他市町村の状況はどれくらいでしょうか？	他市町村はもっと多いような話を聞いたことがあります。他の事例を参考にすることでもっと増やせるのではないのでしょうか？	宇土市6.0億円、美里町0.6億円、上天草市6.0億円、氷川町8.4億円、合志市1.6億円、荒尾市7.2億円。自治体により取り扱うことが可能な返礼品に違いはありますが、本市における人気返礼品の開拓と他自治体の良い取組を参考に寄附額増加を促進します。
8	第2期宇城市まち・ひと・しごと総合戦略の評価関係	【資料3-1】第2期宇城市まち・ひと・しごと創生総合戦略「R6関連施策成果検証シート」⑤II-121	企業版ふるさと納税受入額の他市町村の状況はどれくらいでしょうか？	他市町村はもっと多いような話を聞いたことがあります。他の事例を参考にすることでもっと増やせるのではないのでしょうか？	(肥後銀行企業版ふるさと納税実績) 宇土市410万円、美里町30万円、上天草市610万円、氷川町10万円、合志市1,220万円、荒尾市1,690万円。 企業が賛同する事業組立てが課題となるため、各課と連携し積極的に企業にPRしていきます。
9	第2期宇城市まち・ひと・しごと総合戦略の評価関係	【資料1】令和7年度第1回宇城市総合政策審議会 25ページ	法人市民税額(現年)の実績値へのコメントで、「物価高騰による需要減」とあるが、一般論として税収は名目値のため、物価上昇は税収増をもたらすのではないのでしょうか？	左記質問内容にまとめて記載	実績値へのコメントを下記のとおり、修正します。 減収の主な要因は、資材高騰に伴う全国的な新規建設計画の延期や中止等により、製鉄・鉄鋼業界が減収となったことによるもの。
10	第2次総合計画の評価関係	【資料1】令和7年度第1回宇城市総合政策審議会 6、7ページ	第2次宇城市総合計画は、全体的に「ちょうどいい！住みやすさを実感できる都市(まち)・宇城」をコンセプトに掲げられていますが、「ちょうどいい」は人の感覚に基づいて判断されると思います。宇城市が提供する「ちょうどいい」とは何に対してなののでしょうか？また、どのくらいのを指して「ちょうどいい」と思っているのでしょうか？	既に進行している宇城市の動きだと思うので、途中参加者として純粋に疑問に思いました。「ちょうどいい」という言葉は悪いことも隠せる都合のいい言葉だと感じます。市や町が発展する上では明確な指針や目標、住民意見を参考にした上で進めるべきであると思います。	第2次宇城市総合計画の「ちょうどいい！住みやすさを実感できる都市(まち)・宇城」の「ちょうどいい」は、市民一人ひとりが「ちょうどいい！住みやすさを実感できる都市(まち)」と感じる市を目指すという意味になります。 人口の流出を防ぎ、宇城市が選ばれる都市になるため、市が目指す方向性を市民の方が直感的に感じてもらえるようこのキーワードが設定されました。 また、どのくらいのを指すかということ、具体的な数値を示してはませんが、令和6年度の計画終了時点で人口5万5千人以上を維持できる持続可能なコンパクトシティの形成を目指して作成されたものになります。